



平成28年度 和歌山県高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業

「高次脳機能障害 研修会」 ～和の道じるべ～

- 1 日時：平成29年 2月11日(土) 13時00～16時00 (受付12:30～)
- 2 場所：和歌山県立情報交流センター ビッグ・ユー 研修室1
田辺市新庄町3353-9 (TEL: 0739-26-4111)
- 3 対象者：医療・福祉・介護・行政の関係者、当事者・ご家族など
(定員：100名 定員超過により参加できない場合は、ご連絡致します。)
- 4 内容：
 - 13:00～ 開会あいさつ
 - 13:10～14:30 講演1
「高次脳機能障害の主症状と、
本人・家族・医療者・支援者の対処法」
やまぐちクリニック 院長 山口 研一郎 氏
 - 14:30～14:45 休憩
 - 14:45～16:00 講演2
「僕も知らない僕を巡って～脳損傷の当事者性とは～」
講演家、作家、コラムニスト 小林 春彦 氏

講師紹介

◇ 山口 研一郎 (やまぐち けんいちろう) 氏 (脳神経外科医師)



長崎大学医学部卒業。当初約17年間は脳外科医として救急医療に携わるが、救急医療の現場から離れ開業された。現代医療を考える会代表を務めている。

1999年から高次脳機能障害者に対する認知リハビリを開始する。地域医療・福祉に携わると同時に、脳死・臓器移植・生殖医療・遺伝子診断及び治療など、先端医療がはらむ問題についても取り組んでいる。

現在は、交通事故や脳卒中後に生じる高次脳機能障害患者や遷延性意識障害の方々のリハビリや在宅医療に従事され活躍されている。

著書は、「脳受難の時代」・「生命 (INOCHI)」等多数執筆・編著等されている。

◇ 小林 春彦 (こばやし はるひこ) 氏 (当事者)

18歳の時に脳梗塞で倒れた。3年間の闘病で半身不随など一部の身体機能を克服したが、その後高次脳機能障害と診断された。東京大学先端科学技術研究センターによる、DO-IT Japanの第一期生として参加。発達障害や高次脳機能障害など、脳機能の障害を根拠とした試験の特別措置を日本で初めて実現した。現在は、全国の講演会やメディア・広告・雑誌等に出演し活躍されている。

著書に、「18歳のビックバン 見えない障害を抱えて生きるということ」がある。

- 5 申込み 裏面申し込み用紙に必要事項をご記入のうえ、お申し込みください。
- 6 その他 当日の午前10時時点で、開催地域において「大雨警報」もしくは「暴風警報」が発令中の場合は中止とさせていただきます。